

主要産地における令和元年産水稻の生育状況等について 第8報 (7月9日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和元年7月9日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体等公表資料の抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	<p>(全道) 生育は、やや早く推移している。(北海道農政課 7月1日現在)</p> <p>(空知) 生育は進んでいる。(空知総合振興局 7月1日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調である。幼穂形成期は平年よりやや早まる見込みである。(石狩振興局 7月1日現在)</p> <p>(後志) 生育遅延日数は日早い。(後志総合振興局 7月1日現在)</p> <p>(胆振) 生育はやや早い。(胆振総合振興局 7月1日現在)</p> <p>(日高) 生育は、平年並みである。(日高振興局 7月1日現在)</p> <p>(渡島) 遅延は平年に比べ多いが、6月4半期の低温により生育はやや遅延。(渡島総合振興局 7月1日現在)</p> <p>(樺山) 生育は平年より早い。(樺山振興局 7月1日現在)</p> <p>(上川) 生育の遅延は、平年並に推移している。(上川総合振興局 7月1日現在)</p> <p>(留萌) 生育は早く進んでいる。(留萌振興局 7月1日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年より進んでいる。(オホーツク総合振興局 7月1日現在)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 北・東日本太平洋側では、6月28日頃から、前線や湿った空気の影響を受けやすく、日照時間は平年の50%を下回っている所がある。この状態は、今後2週間程度は続く見込み。また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響を受けやすく、今後2週間程度は気温の低い状態が続き、かなり低くなる所がある見込み。(気象庁 7月8日15時10分)(気象庁)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側でほぼ平年並、オホーツク・太平洋側で平年並か少ない見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>
青森	(生育)	<p>(6月30日現在の生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「つがるロマン」は草丈が42.7cmで平年より3.1cm短く、株当たりの茎数は28.1本で平年より1.3本少ないが、葉数は9.3葉で平年より0.1葉多かった。「青天の霹靂」は草丈が46.2cmで平年より2.8cm短く、株当たりの茎数は24.3本で平年より3.4本少ないが、葉数は8.6葉で平年より0.3葉多かった。 「まっしぐら」の生育状況は草丈が55.2cm、株当たりの茎数は27.3本だった。 <p>(地域) 青森県産業技術センター農林総合研究所 7月1日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は低い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側でほぼ平年並、太平洋側で平年並か少ない見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は、平年並か多い見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>
岩手	(生育)	<p>(7月5日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業研究センター(北上) 全品種とも、草丈、葉数、葉色(SPAD値)は平年を上回っている。茎数は平年より少ない。また、「あきたこまち」は6月30日(平年より2日早い)に、「鏡河のしずく」は7月1日(平年より1日早い)に、「ひとめはれ」は7月3日(平年より1日早い)に穂首分化期に達した。 東北農業研究所(軽米) 「いわてっこ」では、草丈、葉数、葉数は平年を下回っている。葉色(SPAD値)は概ね平年並みとなっている。また、「いわてっこ」は7月1日(平年並)に穂首分化期に達した。 <p>(岩手県農業研究センター 7月8日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節予報(同上) いもち病の発生がやや多の予報(岩手県 6月27日付)
宮城	(生育)	<p>(7月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水稻の生育は概ね順調であり、葉数(平年並+0.2枚)から見ると平年に比べて1日程度進んでいる。農全体の水稻の生育は、草丈が48.4cm(平年比98%)、1m当たり茎数が576本(平年比102%)、葉色はG値が43.1(平年+1.1)となっている。 <p>(宮城県 7月2日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節予報(同上)
秋田	(生育)	<p>(北秋田) 6月25日現在の生育は、草丈が37.3cm(平年比94%)、茎数が498本/m²(同比98%)、葉数が9.2枚(同差+0.3枚)、葉色値が44.9(同比101%)。田植えの早晚等により依然、生育にばらつきが見られる。(7月5日付)</p> <p>(平 鹿) 6月25日現在の生育は、草丈が33.1cm(平年比94%)、茎数325本/m²(同比98%)、葉数8.5葉(同差+0.3葉)となっている。(6月28日付)</p> <p>(由 利) 7月5日の水稲定植調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は50.8cmで平年並(平年比101%)、m²あたり茎数は491本で平年より少なく(平年比90%)、葉数は9.9葉で平年並(平年並+0.1葉)。カメムシ対策として駆除等の草刈り作業が行われている。また、葉数が確保されたほ場では中干しが始まっている。(7月5日付)</p> <p>(山 本) 6月25日現在の水稲定植調査(管内9地点、品種：あきたこまち)における生育状況は、草丈34.3cm(平年比95%)、葉数463本/m²(同比122%)、葉数8.8葉(同差+0.2)、葉色45.2(同比103%)となっている。(6月28日付)</p> <p>(仙 北) 6月25日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈が36.1cm(平年比96%)、葉数は552本/m²(平年比138%)、葉数は9.9葉(平年並+0.7葉)、葉緑素計値は43.7(平年並-0.2ポイント)。(6月28日付)</p> <p>(鹿 角) 6月25日の水稲定植調査では、草丈が34.2cmで短く(平年比92%)、m²あたり茎数は505本でやや多く(平年比104%)、葉数は8.6葉で並(平年並-0.1葉)、葉色はSPAD値で45.9と並(平年比101%) (6月28日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節予報(同上)
山形	(生育)	<p>(東南箇所) (7月1日時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 草丈「平年並み～やや低い」、葉数「並み～多い」、葉数は概ね「並～やや多い」、葉色が「やや濃い～濃い」。 また、例年になく播種期の生育差が大きい状況。出穂期は「平年並(田植えが早い圃場では平年より1、2日早い)」の予想。(置賜農業技術普及課 7月4日付) <p>(最上) (7月1日時点) (雪若丸、つや姫)</p> <ul style="list-style-type: none"> 葉数は多く、葉色は濃い傾向。幼穂の生育状況から見ると、出穂期は平年並の見込み。(最上総合支庁農業技術普及課 7月5日付) 	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節予報(同上)
福島	(生育)	<p>(7月2日現在、農業総合センターの生育調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本部(郡山)では、平年より草丈は短く、葉数は多く、主稈葉数はやや少なく、葉色は濃くなっている。 <p>・会津地域研究所(会津坂下)では、草丈は平年並、葉数は平年より少なく、主稈葉数は少なく、葉色は濃くなっている。</p> <p>・浜地域研究所(相馬)では、平年より草丈は短く、葉数は多く、主稈葉数は平年並、葉色は品種間差がある状況。</p> <p>・コシヒカリの主稈葉からみた生育は、本部と会津地域研究所では平年より最大3日の遅れ、浜地域研究所では1日早くなっている。今後の天候によるが、幼穂形成始期は各地域とも平年並と見込まれている。</p> <p>(福島県 7月5日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <ul style="list-style-type: none"> 季節予報(同上)

生育状況等		
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは3日程度遅い、コシヒカリは1日程度遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは最高分け時期、ふくまるは幼穂形成期。 <p>(水戸市 5月10日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) コシヒカリは2日程度遅い。 ・(生育ステージ) コシヒカリは最高分け時期 (茨城県農業総合センター 6月25日付) <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは4日遅い、コシヒカリは1日遅い、ふくまるは3日遅い(平年並)。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期、ふくまるは幼穂形成期。 <p>(龍ヶ崎市 5月7日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは6日遅い、コシヒカリは1日遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期。 <p>(茨城県農業総合センター 7月1日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は低い見込み。 降水量は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区气象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区气象台)</p> <p>・いもち病(葉いもち)の発生量は平年並～やや多いの予想。 (茨城県病害虫防除所 6月27日付)</p>
栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・早植栽培(品種:コシヒカリ) (6月21日調査結果) (11か所平均: 平年値\rightarrow欠、及び生育不良地点除く) <p>(生育)</p> <p>草丈は平年並(平年比100%)、葉数はやや多く(105%)、葉齢は平年並、葉色は0.3淡い、地域によりバラツキがあるが、葉齢から判断して生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色\times葉数)は平年比99%で平年並である。</p> <p>(栃木県 6月24日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p>
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月2日に移植した「ふさおとめ」、「ふさこがね」は平年と比較して「並」～「やや早」となっており幼穂形成期を迎えています。また、4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月19日頃(平年より2日早い)から幼穂形成期を迎え、追肥時期となっている。 ・5月1日に移植した「コシヒカリ」は平年並みの6月2日頃から幼穂形成期となる見込み。なお、4月植入「コシヒカリ」の一部のほ場では、過繁茂で推移している。 <p>(千葉県 6月27日付)</p>	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <p>・季節予報(同上)</p> <p>・いもち病(葉いもち)の発生量はやや多いの予想。 (千葉県農林総合研究センター 6月12日付)</p>
新潟	<p>(7月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリは、指標値(生育のめやす)に比べ、草丈が「並」、葉数が「多い」、葉数の進みが「やや早い」、葉色が「並」の状況。 ・長岡市に設置した調査ほ場の早生品種つきあかり、ゆきん子舞、こしいぶきの葉数は、指標値に比べ、それぞれ「少ない」、「並」、「並」の状況。また、つきあかり(5月8日植入)は6月28日、ゆきん子舞(5月1日植入)は6月29日に幼穂形成期を迎え、こしいぶき(5月10日植入)は7月1日時点で、幼穂が確認され始めている。 <p>(新潟県 7月2日付)</p> <p>(佐渡) コシヒカリの生育は、葉数の進みは平年並、葉数は指標値以上となっている。 (佐渡農業普及指導センター 7月1日付)</p> <p>(岩船) 草丈:短葉数:多(地域差・ほ場間差大) 葉数の進み:並葉色:並～やや遅。 草丈は短いものの、6月中旬以降の少雨の影響で全般的に葉質が軟弱な稲が多い。 出穂期は早生、ゆきん子舞ともに平年比\rightarrow1日程度早まる見込み。 (村上農業普及指導センター 7月1日付)</p> <p>(上越)「コシヒカリ」の生育は、草丈はやや短く、葉数の進みは遅いが、葉数はやや多くなっている。また、葉色はほ場による差が大きくなっており、今後の生育に注意が必要。 「こしいぶき」の生育は、草丈は並、葉数はやや多、葉色は濃くなっている。 (上越農業普及指導センター 7月1日付)</p> <p>(南魚沼) (7月1日調査) (JA、普及センター生育調査地点27地点の平均、< >内は指標値との比較) 草丈:45 cm<並>、葉数:9.6葉<並>、葉齢:493本/m²<やや多>、葉色:SPAD値39.9<並> (南魚沼農業普及指導センター 7月2日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 北陸地方の向こう1か月の気温は平年並か低い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方气象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁新潟地方气象台)</p> <p>・6月18日に山形県沖で発生した地震により、農地14カ所(村上市、関川村、阿賀町)で田崩落、田面に亀裂。 (新潟県 7月5日13時現在)</p>
富山	<p>(本田での生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てんたかく 平年比に比べ、草丈、葉色は並み、葉数は多く、葉齢は0.3葉多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並みと、葉数はかなり多くなっている。幼穂形成期は、平年より1日早い6月28日となった。今後、平年並みの気温で推移した場合、出穂期は、7月2日頃と見込まれる。 <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリ 平年比に比べ、草丈、葉齢および葉色は並み、葉数は多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並みで、葉数は多くなっている。生育量(草丈\timesm²葉数\times葉色\div1000)の平均値は、136と平年(127)に比べ、やや大きくなっている。今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ平年より1日程度早い7月11日頃、8月1日頃と見込まれる。 ・てんこもり 平年比に比べ、草丈、葉齢および葉色は並み、葉数は多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、葉数は多くなっている。今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期は、それぞれ平年より1日程度早い7月13日頃、8月5日頃と見込まれる。 ・富富富 前年比に比べて、草丈、葉色は並み、葉数はやや多く、葉齢は0.2葉進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや短く、葉数はやや多く、葉色は並みとなっている。今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期、出穂期はそれぞれ前年より1日程度早い7月12日頃、8月1日頃と見込まれる。 <p>(富山県 農業技術課広域普及指導センター 7月5日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
石川	<p>(本田生育 6月28日調査)</p> <p>1. 出穂期(早生品種) ゆめつばつ出穂期は、加賀地域で7月15～19日頃と近年より3日程度早く、能登地域(羽咋～中能登)は7月20日頃と近年に比べ2日程度早くなる見込まれる。また、能登地域(奥能登～珠洲)の能登ひかりの出穂期は、7月22～25日頃と近年及び前年並と見込まれる。</p> <p>2. 草丈 コシヒカリは平年比97%(加賀地域96%、能登地域99%)といずれの地域も平年並。 ゆめつばつは近年比101%(加賀地域100%、能登地域103%)といずれの地域も近年並。 ひやくまん穀は近年比107%(加賀地域107%、能登地域107%)といずれの地域も近年に比べやや長い。</p> <p>3. m当たり葉数 コシヒカリは、平年比104%(加賀地域103%、能登地域106%)と加賀地域、能登地域とも平年並。 ゆめつばつは近年比107%(加賀地域111%、能登地域100%)と加賀地域で近年よりやや多く、能登地域で近年並。 ひやくまん穀については、近年比115%(加賀地域:98%、能登地域:137%)と加賀地域で近年並、能登地域で近年に比べ多くなっている。</p> <p>(石川県農林総合研究センター 7月1日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
福井	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植コシヒカリでは来週中に幼穂形成期を迎える予定。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月4日付)</p>	<p>・季節予報(同上)</p>
長野	<p>(農業試験場八森圃場(標高340m) 7月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、葉数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。 ・移植後30日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、葉数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。 いずれの品種においても生育の進捗が前年、前年に比べても遅延している。 ・移植後40日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、葉数が平年値に比べやや少なく、草丈は短い。前年の同時期の生育量とほぼ同等である。(長野県農業試験場 7月1日現在) <p>(標高1017m原村の原村試験地における水稲生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後20日調査では、いずれの品種も主穂葉数が平年よりやや少なく、葉数が平年よりかなり少ない。 ・移植後30日調査では、いずれの品種も主穂葉数が平年並、草丈が平年よりやや短く、葉数は前年調査と同様平年よりかなり少ない。 ・移植後40日調査では、いずれの品種も主穂葉数は平年並、草丈は平年よりやや短く、葉数は前年調査と同様平年よりかなり少ない。(長野県農業試験場 7月8日現在) 	<p>【日照不足と低温に関する全般気象情報】 (同上)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は低い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区气象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁東京管区气象台)</p>

	生育状況等	
滋賀	<p>・作況調査（5月10日補）では、草丈やや長く、茎数は「みずかがみ」で少なく、「コシヒカリ」で平年並、生育ステージはほぼ平年並である。（滋賀県 6月27日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は低い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p>
兵庫	<p>（6月25日現在）</p> <p>・県北 葉齢の進展は平年よりやや早い、草丈はやや短く、茎数は少ない。 遅植えでは葉齢の進展はやや遅く、草丈、茎数は平年並である。</p> <p>・県南 葉齢の進展は平年よりやや早く、草丈は平年並からやや低い。茎数は多い。 （兵庫県 7月4日付）</p>	<p>・季節予報（同上）</p>
岡山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は低い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p>
広島		<p>・季節予報（同上）</p>
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月5日～8月5日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は低い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>・いもち病の発生量は平年並～やや多い予報（愛媛県 6月28日付）</p> <p>・石手川の農業用水は6月29日から、22.2%の取水制限。 （国土交通省 7月8日現在）</p>
高知	<p>・早期稲 天候に恵まれ、生育は概ね順調である。出穂期は、南国そでちで6月19日、よき恋美人で6月24日と平年より2日ほど遅かった。また、コシヒカリは移植時期の早かったものは4月上旬の低温の影響により遅れ気味、標準植えでは平年より3日程度早く、ともに7月2日頃と予想されている。</p> <p>・普通期稲 移植は6月中旬までにほぼ終わり、移植後の生育は全般的に順調である。 （高知県病害虫防除所 7月4日付）</p>	<p>・季節予報（同上）</p> <p>・水稲（普通期稲）のいもち病（まいもち）の発生量は、やや多（中西部）の予報（高知県病害虫防除所 7月4日）</p>
福岡	<p>・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ） 生育は順調で有効茎が確保され、中干し時期となっている。4月下旬植えの出穂期は平年より2～3日早い7月中旬の見込み。</p> <p>・普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど） 5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温で経過したため活着が良く、生育は順調。 降雨が少ないため、一部地域では、田植えが平年に比べて3日～1週間程度遅れている。 収穫後でも田植えが始まり、平地地の「夢つくし」は6月上旬中、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。 （福岡県農林総合試験場 6月14日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は低い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p>

生育状況等	
熊 本	<p>・季節予報（同上）</p> <p>・早稲え水稲の獲いもちの発生量はやや多の予報。 （熊本県病害虫防除所 7月2日付）</p>
宮 崎	<p>（作物の生育状況）（6月中旬）</p> <p>・ 早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。</p> <p>（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 6月25日付）</p> <p>（生育）</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月6日～8月5日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は低い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p>
鹿 児 島	<p>・季節予報（同上）</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：前報からの更新箇所は赤字で示した。
注3：令和元年7月9日13時時点での取り纏め。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 7月1日現在(北海道 7月4日)、農作物生育状況 7月1日現在(北海道空知総合振興局 7月4日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道後志総合振興局 7月4日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道石狩振興局 7月4日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道胆振総合振興局 7月4日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道日高振興局 7月4日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道渡島総合振興局 7月4日)、農作物の生育状況 7月1日現在(北海道檜山振興局 7月4日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道上川総合振興局 7月4日)、農作物生育状況調査の概要 7月1日現在(北海道留萌振興局 7月4日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月4日)、
作況調査報告(6月30日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 7月1日)、
令和元年度水稲生育定期調査結果No.4(7月5日現在)(岩手県農業研究センター 7月8日)、
令和元年度水稲の生育状況について(7月1日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 7月2日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月5日)、
つや姫雪若丸だより第2号(最上総合支庁農業技術普及課 7月5日)、
おきたま米づくり情報No.6(置賜農業技術普及課 7月4日)、
主要な農作物の生育情報令和元年度第4号(福島県農林水産部 7月5日現在)、
農研速報龍ヶ崎(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月25日)、
農研速報水戸(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月1日)、
令和元(2019)年度水稲生育診断予測事業速報No.3(栃木県 6月24日)、
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第4号)(新潟県農林水産部 7月2日)、
稲作生育速報No.4(佐渡農業普及指導センター 7月1日)、コンセカ・こしいぶき生育速報(上越農業普及指導センター 7月1日)、
岩船米生育速報(7月1日現在)(村上農業普及指導センター)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.3(南魚沼農業改良普及センター 7月2日)、
TACS情報第6号(富山県農業技術課 7月2日)、
令和元年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月28日調査)、
稲作情報No.10(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月4日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 7月1日現在・7月8日現在)、
令和元年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月27日)、
兵庫県農業気象技術情報第2号(7月情報)(兵庫県 7月4日)、
令和元年度病害虫発生予報6月月報(高知県病害虫防除所 7月4日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 6月14日現在)、
平成31年度病害虫発生予報第3号について(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 6月25日)、

病害虫発生予報情報(岩手県 6月27日)、
病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会 6月27日)、
令和元年度病害虫発生予報第3号(千葉県農林総合研究所 6月12日)、
病害虫発生予報(7月)(愛媛県 6月28日)、
令和元年度病害虫発生予報第4号(高知県病害虫防除所 7月4日)、
令和元年度病害虫発生予報情報第4号(7月予報)(熊本県病害虫防除所 7月2日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月4日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月4日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月4日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月4日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月4日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月4日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月4日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月4日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月4日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月27日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月27日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月27日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月27日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月27日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月27日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月27日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月27日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月27日鹿児島地方气象台)、

北・東日本太平洋側の日照不足と低温に関する全般気象情報第1号(気象庁 7月8日)、

令和元年度渇水状況について(7月8日現在)(国土交通省)、

新潟県報道資料 被害速報第18号(新潟県災害対策本部 7月5日)